

石川県七尾美術館だより

平成19年10月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第51号(秋号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

2007
イタリア・ボローニャ
国際絵本原画展

「ANNUAL表紙」(部分)
ヴォルフ・エアルブルッフ



展覧会紹介

平成19年10月1日(月)

12月31日(月)

休館日については裏表紙をご覧ください

特別展「石川の歴史と文化再発見」(後期)

石川県立美術館共催事業

「茶の湯の美術」

「石川県立美術館所蔵の名品を中心に」

開催中 10月28日(日)

第一・第二展示室

「茶の湯」という用語は中世では「茶数寄」、近世以降では茶道に対する和称あるいは雅称として使用されます。

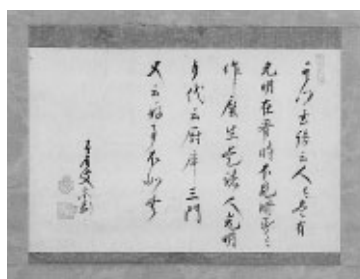
日本における飲茶の起源は奈良・平安時代まで遡るとされ、当時は薬用として飲まれていたといわれます。そして鎌倉時代に僧栄西が禅宗とともに「喫茶」の風習を伝え、現在日本で最古の茶に関する書である「喫茶養生記」を表しました。

その後飲茶は徐々に一般にも普及していき、室町時代初期頃までは「闘茶」などの嗜好品としての面を強く持っていました。しかし、中期頃になると村田珠光によって「茶の湯」としての新しい茶風が創始されます。そして武野紹鷗が珠光の茶を広めて「侘び茶」を展開し、室町時代後期の「茶の湯」界に指導的役割を果たして、その完成に大きく貢献しました。



「古銅柑子口花入」明時代
石川県立美術館蔵

「春屋宗圓墨跡 雲門垂語」
春屋宗圓 室町・桃山時代
石川県立美術館蔵



「交趾金花鳥香合」
明時代
石川県立美術館蔵



やがて桃山時代、紹鷗に学んだ千利休によって「茶の湯」は大成されました。利休はそれまで町衆の間で流行していた「侘び茶」の伝統を発展させ、「茶会の点前形式の完成」「独創的な茶屋と道具の創造」「茶道の精神性の深化」などを導入し、以後現代にまで至る「茶の湯」の理念を確立しました。

そして、その手法や精神は各時代を代表する多くの文化人たちによって継承され、今日「茶の湯」は日本の代表的伝統文化として多くの人々に親しまれています。

また、「茶の湯」が広がりをもせた桃山時代以降、茶道具の需要が増したことや、深い精神性を持つ和物の茶道具が重視されるようになったこと、さらに茶人たちが自らの好みの道具を注文したことによって、全国各地の窯で多くの茶陶が制作されることとなりました。

それは中世以来の焼物である「伊賀」や「丹波」、「備前」や「信楽」などをはじめ、利休の侘びの

思想を反映した「楽」や、桃山時代の自由闊達な雰囲気や映したような開放的で変化に富んだ作風の「美濃」、朝鮮半島の陶工たちに由来したといわれる「唐津」「上野」「高取」「萩」といった新しく創始された窯など様々で、個性的な茶陶が盛んに制作されました。

重文「色絵梅花図平水指」
野々村仁清 江戸時代
石川県立美術館蔵



「播磨茶入」
室町時代
石川県立美術館蔵



石川県においては、江戸時代の加賀藩による文化政策が「茶の湯」の普及に大きく貢献しています。加賀藩の「茶の湯」は初代藩主前田利家に始まるといわれ、二代藩主利長以降、歴代藩主は「茶の湯」に深く傾倒しました。

特に三代藩主利常と五代藩主綱紀は傑出した文化大名として知られ、金森宗和や本阿弥光悦、小堀遠州など当時第一級の文化人たちに指導を受け、「百万石」の富を惜しげもなく投入して「茶の湯」の普及や名品収集などを積極的に行いました。

また、加賀藩内での優れた文物の制作を目的として多くの名工を召し抱え、藩営の「御細工所」を拠点とした工芸育成事業を行ったことにより、「茶の湯」と密接な関係を持つ「大樋焼」や「寒雄

釜」のほか、「九谷焼」や「加賀時絵」、「加賀象嵌」など多くの美術工芸が発達しました。

同時に、藩主たちの「茶の湯」への傾倒は藩内全体に行き渡り、藩士のみならず町人の間にも「茶の湯」は盛んとなりました。そしてその茶風は今日にも受け継がれ、現在も金沢を中心に加賀独自の「茶の湯」が広く行われています。

従って現在でも石川県は「美術工芸王国」と呼ばれると同時に、「茶の湯」の盛んな地域として知られています。

重美・県文「祇園会図」
伝長谷川久蔵 桃山時代
石川県立美術館蔵



県文「飴釉鳥香炉」
初代大樋長左衛門 江戸時代
石川県立美術館蔵



尚、本展は現在石川県内に所蔵される優れた文化財を紹介する特別展「石川の歴史と文化再発見」の後期展示で、前期では「武士」をテーマに甲冑や刀剣などを紹介しました。今回はテーマを「茶の湯」とし、加賀藩伝来など地元ゆかりのある品をはじめ、数多くの優れた茶道具を所蔵している石川県立美術館の特別協力を得て、その貴重なコレクションを中心に、当館所蔵「池田コレクション」の「美濃焼」などを加え、様々な茶道具美術品を紹介するものです。

多くの人々に愛された様々な茶道具の名品をご鑑賞ください。

「茶の湯の美術」関連事業案内

① 友の会特別鑑賞会「茶の湯の美術」

展示室内で作品に関する『とっておきのお話』が聞けます。

日時：9月30日（日） 午前11時～12時

会場：当館展示室

講師：嶋崎 丞（当館館長）

※参加には友の会会員登録と観覧料が必要です。

② 「茶の湯の美術講座」

『茶の湯の文化』について広く学ぶことができます。それぞれ内容が異なりますので、二回続けての聴講をお勧めします。

日時：Part I…10月7日（日）

Part II…10月14日（日）

共に午後2時～3時

会場：当館アートホール

講師：嶋崎 丞（当館館長）

※参加無料

「小井戸茶碗 銘玉兔」 李朝時代
石川県立美術館蔵



「織部柳文筒向附」 桃山時代
当館蔵 池田コレクション



会期中限定販売！

「茶の湯の美術」関連グッズ

ミュージアムショップでは、開会期間中、展覧会関連グッズを販売します。

出品作品の複製香炉や湯のみなど石川県立美術館オリジナルならではの風格あるグッズをはじめ、同館所蔵品の絵葉書、クリアファイル、ぬりえ（新商品！大人の方もどうぞ）など気軽に楽しめるグッズも販売します。

また、図録、書籍についても『茶道美術名品図録』（石川県立美術館発行）をはじめ、茶の湯に関してやさしく解説した『すぐわかる茶の湯の美術』、『すぐわかる茶の湯の名品茶碗』（いずれも東京美術発行）などを販売。県立美術館は来年秋までリニューアル休館していますので、今回が『県美グッズ』を入手する絶好のチャンス！

展覧会の鑑賞時間に、ミュージアムショップでの「どれにしようかな？」の時間もプラスして、ゆつくりどうぞ。



複製湯のみと香炉



ぬりえとクリアファイル

◇ 観覧料

	一般	個人	団体
大高生	500円	400円	
	350円	300円	

※中学生以下無料、団体は20名以上です。

「2007イタリア・ボローニャ

国際絵本原画展」

11月9日(金)～12月9日(日)

【会期中無休】

◆第一・第二・第三展示室

毎年春、イタリア北部の古都ボローニャでは、世界で唯一の児童図書専門見本市「ボローニャ児童図書展」が開催されます。会場では世界各国の出版社がブースを構え版権の売買などが行われるため、児童図書の最新動向を知ることのできる機会となっています。そして、この見本市のイベントの一つとして一九六七年から絵本原画コンクールが開催されています。

このコンクールは絵本のために描かれた五枚一組の原画を審査するもので、物語のためのイラストを描くフィクション部門と、図鑑など教育を目的とするノンフィクション部門で募集されます。十六歳以上であれば誰でも応募でき、公平に審査されることから、新人イラストレーターの登竜門として注目されています。

今年も一月のボローニャに国籍や職業の異なる四人の審査員が集まり、世界五十八カ国、二六五三組の応募作品から、フィクション・ノンフィクション部門を合わせて、二十三カ国、八十五組の作品を選び出しました。これらの作品は「イタリア・ボローニャ国際絵本



「ピノッキオ」アルチュール・ルブッフ（フランス）

原画展」として日本に紹介されるだけでなく、図録に掲載され、世界中の人々に届けられるのです。近年、日本人応募者の増加が著しく、今年は開催国であるイタリアに次ぐ十七人もの入選者が誕生しました。

本展覧会は一九七八年に初めて兵庫県の西宮市大谷記念美術館で開催されました。石川県では一九九五年に小松市の本陣記念美術館・市民ギャラリーフレで初めて紹介され、一九九八年以降は当館での開催となり、今年、記念すべき十回目を迎えます。



「卵の小さな本」パトリツィア・ドナエラ（イタリア）

入選作品は、絵画として魅力的であることはもちろん、五枚の原画で物語を語っています。子どもたちは私たち大人が思いもよらない原画に興味を持つかもしれません。絵本の原画は印刷され出版されることを前提に描かれ、手元に届けられるのは、絵本の形になってからです。印刷された絵本からは感じることでできない原画の魅力を、お楽しみください。物語の中へ足を踏み入れ、忘れつつある子ども時代を取り戻してみませんか。

【特別展示】

今年には二〇〇六年に子どもの本のノーベル賞ともいわれる「国際アンデルセン賞」の画家賞を受賞したヴォルフ・エアルブルッフです。一九四八年、ドイツ生まれの五十八歳。イラストレーターとして『ブレイボーイ』や『エスクアイア』などで活躍し、一九八五年より絵本の仕事を始めました。二度のドイツ児童文学賞受賞に加え、二〇〇三年には同賞特別賞を受賞。また、二〇〇四年には『La Grande Question』（仏）にボローニ

ャ・ラガッツィ賞も受賞しています。ボローニャ展図録表紙描き下ろし『Neues ABC - Buch』（独）の原画二十点を紹介します。

【映像コーナー】

ボローニャでの原画展や、入選者の感想、出版社への売り込みの様子などに加え、エアルブルッフへのインタビューなど、美しい市街の映像とともにお届けします。



「オムライス男爵」神野早織（日本）

【絵本展示】

入選作品や入選作家による絵本、おススメ絵本など約百冊を展示します。ご自由にご覧下さい。

【十周年記念展示】

当館での開催が始まった一九九八年以降のボローニャ展に入選した北陸在住作家から、五作家の作品を紹介します。絵本を出版したり、作家として活躍する彼らの作品をご覧ください。

● 出品作家（入選年／入選部門）

おきた もも	98 年	ノン・フィクション部門
かる べめぐみ	03 年	フィクション部門
荒川 恵子	06・07 年	フィクション部門
釣谷 幸輝	06・07 年	フィクション部門
広瀬 ひかり	06 年	フィクション部門



「みんなの家」エリー・ナカヤマ（ブラジル）



「さまざまな少女たち」ニコレッタ・チェツコリ（サン・マリノ共和国）

ワークショップ

★かんたん絵本を作ろうよ！★【参加無料】

いらなくなったポスターやカレンダーなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

開催日 11/10(土)、11(日)、17(土)、24(土)、12/1(土)、2(日)、8(土)、9(日)

時間 午後2時～4時

対象 4歳～小学生(未就学児は保護者同伴)

定員 各日10名(要申込)

持ち物 不要なポスターなど

協力 もこもこの会のみなさん

★「コラージュ」に挑戦!!★【参加無料】

ペタペタチョキチョキ。紙に色を塗ってオリジナルの絵を作ったり、いろんな紙を切ったり貼ったり。そこから何がみつかるかな?

開催日 11/18(日)

時間 ①午前10時～12時
②午後1時30分～3時30分

対象 ①②ともに、中学生以下

定員 各10名(要申込)

持ち物 家にある紙、画材、ボンド、筆記用具など

講師 かるべめぐみ氏(03年入選・画家)

★絵本アニメ上映会★【入場無料】

毎週土曜日の午後1時～1時30分。世界の名作絵本アニメを上映します。

11/10 すてきな三にんぐみ

11/17 まほうつかいのノナばあさん

11/24 スイミー

12/1 かもさんおとおり

12/8 かいじゅうたちのいるところ

他

★楽しい銅版画教室★

ドライポイントの技法で本格的な銅版画作品を作ります。版の大きさは148×210mm。作品展も開催します。

開催日 11/23(金・祝)

時間 ①午前10時～12時
②午後1時30分～4時

対象 ①小学生以上
②高校生以上

定員 各10名(要申込)

持ち物 下絵、筆記用具など

参加費 1,000円

講師 広瀬ひかり氏(06年入選・銅版画家)

作品展 11/24(土)～12/9(日)



© 広瀬ひかり

※「絵本作り」「コラージュ」「銅版画」とともに、

10/25(木)9時より電話受付開始(先着順)

荒川恵子の2007ボローニャ日記

イタリアで毎年開催される、ボローニャ国際児童図書展へ2007年4月に行ってきました。

関西国際空港からフランクフルト経由でボローニャに到着!中世ヨーロッパの雰囲気を残す古い建物や街並みや、赤くてカワイイ路線バス(バス停に置いてある券売機もバスと同じ色!)何もかもが珍しく、見ていただけで楽しくなってきました。



「ロージーとなかよし」



マジョーレ広場周辺(写真左) ポルティコと呼ばれる柱廊アーケード(写真右)



ボローニャ駅から出ている路線バスに乗って見本市会場に到着。会場ではたくさんの人にびっくり!

世界中のたくさんの出版社がこの会場に集まって、各自のブースでビジネスの話をしているのですが、会場がとても広いので、どの国のブースがどこにあるのかを見てまわるだけでも大変。方向オンチの私は、会場の地図を持っているのに何度も迷子になってしまいました。

同じような夢を持ち、会場をまわって作品を見ている日本人やいろんな国の方と作品を見せ合ったりお話をすることがありました。(日本に戻ってからメールや手紙で連絡し合ったりしている方もいます。)



見本市会場の入口

このボローニャでの経験や出会った素敵な人達を通して自分がこれまで知らなかったこと、気づかなかったことをたくさん見つけること、知ることが出来たのが私にとって何よりボローニャでの収穫でした。

おまけ ボローニャの街中にあるお菓子も販売しているパン屋さんのクッキー。口の中に入るとサクサクの食感とチョコのほろ苦さ、粉砂糖の甘さが、コーヒーにピッタリ!おいしいので、店先で見かけるとつい、何種類も買っておやつに食べていました。



★会期中限定販売!ボローニャグッズ★

ミュージアムショップでは、入選作家のクリアファイル、一筆箋、絵本などを販売。

さらに今年は出品作家(釣谷幸輝氏)のオリジナル缶バッジをガチャガチャマシーンで

買えるお楽しみ企画もあります。人気商品は会期中中でも、

売り切れてしまいますので、お早めに♪

当館友の会会員証の提示で割引される商品もあります!



楽しい♪



かわいい!

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	3500円	700円	600円
中学生以下無料、団体は20名以上です。			

※中学生以下無料、団体は20名以上です。

市民ギャラリー催し物案内

第3回彩の会&写団のと展

入場 無料

10月5日(金)～8日(月・祝)

最終日は午後4時30分まで

七尾市を中心に活動する洋画グループ「彩の会」と写真グループ「写団のと」の第3回合同展で、双方の会員30名が風景、人物などの近作約80点を展示発表します。芸術の秋。ぜひご来場を。

主催 彩の会・写団のと

連絡先 彩の会 加地求

☎0767(52) 1613

榎本友康パステル画展

入場 無料

10月26日(金)～28日(日)

初日は午後1時から

最終日は午後4時まで

パステル画による「静物と風景」約20点を展示します。自然を求め東京から能登へ移住して30年。静物をモチーフに、能登の静かな時間と光りを描いた作品。こゆつくりとご覧下されば幸いです。

主催・連絡先 榎本友康

☎0767(42) 2621

平成19年度 七尾市美術展覧会

入場 無料

11月2日(金)～4日(日)

最終日は午後4時まで

美術文化の振興発展をめざし、地域文化の向上に寄与することを目的とし、「日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真」6部門の公募による能登地区最大の美術展覧会です。：がんばろう能登：個性あふれる作品をお楽しみください。入賞者の表彰式は11月4日(日)午後1時30分より、美術館アートのホールにて行われます。

主催 七尾美術作家協会

連絡先 七尾美術作家協会会長 清水聖嗣

☎0767(52) 3931

第64回北國写真展七尾展

入場 無料

12月21日(金)～23日(日)

第64回の写真展開催の運びとなり会員の方々も作品作りに自効努力しています。必ず目を見張る夢見る世界へと導かれることでしょう。是非ご来館下さって写真芸術を心行く迄ご堪能下さい。

主催 北國写真連盟・北國新聞社・富山新聞社

連絡先 宮崎 功

☎0767(57) 2845

アートホール催し物案内

第10回ピアノチェンコンサート

入場 無料

10月13日(土) 開演 午後2時30分

ピアノのソロやアンサンブルの発表会です。日頃の練習の成果をみなさんに観ていただきます。どなたでも御来場ください。

主催 松本佐智子・古川かおり門下生

連絡先 松本佐智子

☎090・3885・0061

泉流日舞

入場 無料

10月21日(日) 開演 午前11時

七尾市を中心に総勢30名程のグループです。長唄及び歌謡その他、日舞の泉流教室の日頃の練習成果を発表いたします。

主催 泉流日舞

連絡先 石垣喜久雄

☎090・8262・4573

第3回七尾市民文化祭参加事業 辻井雅子ピアノ公開レッスン

10月28日(日) 開演 午後1時

時代がどんなに変わっても、何事をするにも「基本の大切さ」は変わりません。辻井先生が丁寧に楽しくお話を交えながらテ

クニックをご指導致します。どうぞ、ご来場下さい。

聴講料 1,000円

主催 七尾市文化協会

連絡先 障子口幸美(能登ピアノレスナー会)

☎0767(38) 1307

090・2091・9479

第2回CREOピアノコンサート

11月3日(土) 開演 午後2時30分

CREOは、音楽を通して皆さんと一緒に、楽しい時間を過ごしたいと思っています。今回は、モーツァルトやショパン、ドビュッシーなどのピアノ曲をとりあげます。どうぞ、お気軽にご来場下さい。

入場料 500円

主催 CREO(クレオ)

連絡先 谷 栄美

☎0767(53) 1124

doiceピアノコンサート

入場 無料

11月11日(日) 開演 午後1時30分

小学生から大人まで、年に一度のピアノ発表会です。今回は、映画音楽と連弾の特集を企画しました。平見夕紀さんによる読み聞かせもあります。お気軽にご入場下さい。

主催 ピアノグループdoice

連絡先 井藤真理

☎0767(58) 1355

七尾市健老大学講座 音楽鑑賞と加賀万歳

11月13日(火) 開演 午後1時30分

懐かしいうたをピアノ・フルート・琴で演奏します。後半には加賀万歳で楽しんでいただきます。

入場料 300円

主催・連絡先 七尾市生涯学習課

☎0767(68) 6595

第12回メロディ音楽会

入場 無料

12月2日(日) 開演 午後1時30分

2年に1回開かれる発表会です。お馴染みのクラシックからポップス、アニメソングまで生徒達がお気に入りの一曲を演奏します。どうぞ、お気軽にご来場ください。

主催 松本由美子門下生

連絡先 松本由美子

☎0767(53) 7068

竹本由起子門下生 第8回ピアノ発表会

入場 無料

12月9日(日) 開演 午後1時30分

日頃の練習の成果として、2年に一度催しています。ソロをはじめ、兄妹による6手連弾など、幼児から一般の方までの演奏です。どうぞ応援にお越し下さい。

主催 竹本由起子門下生

連絡先 竹本由起子

☎0767(52) 7172

ひまわり保育園おたのしみ会

入場 無料

12月16日(日) 開演 午前9時45分

2歳児から5歳児による発表会で、楽器演奏や歌、遊戯や劇あそび等を予定しています。子ども達の一年間の成長をご覧いただきたいと思ひます。元気いっぱい発表いたします。

主催・連絡先 ひまわり保育園

☎0767(57) 2800

青山バレエクリスマス発表会

入場 無料

12月23日(日) 開演 午後1時30分

日頃の練習の成果を見ていただくファミリーコンサートです。一生懸命で可愛い子供たちの姿を是非見に来てください。

主催 青山バレエ

連絡先 津田康子

☎090・8261・6792

「洋画家 中村静勇の世界〜幻想の物語〜」

ギャラリートーク報告

七月一日（日）、中村静勇氏によるギャラリートークを開催しました。参加者の皆さんは貴重なお話に聞き入り、幻想的な空間を楽しみました。

また、中村氏のご好意で、中村氏の後輩である朝日中学校（旧徳田中学校）三年生との展示室でのセッションも実現しました。図版を見ながら事前に授業でレクチャー後、展示室で実物を目にした生徒たちは、その存在感や深みを実感し、中村氏に質問したり、自分が感じたことなどを話しました。先輩が描いた素晴らしい作品を前に、中村氏自身と対話できたことは、非常に貴重な体験になったと思います。



中村氏の「僕の絵は日記みたいなもの。色々な思いを絵で綴っているんだよ。だからみんな、うまいとか下手だとか気にしないで、自分の気持ちを絵にしていけばいいと思う」という言葉の通り、子どもたちが自由に表現し、新たな芸術家が誕生していくことを楽しみにしています。中村先生、ありがとうございました！

職場体験&博物館実習報告

当館では今年も七月〜八月の間に七尾市立東部中学校生徒二名、石川県立鹿西高校生徒二名、博物館実習生二名を受け入れ、美術館の様々な仕事を体験してもらいました。博物館実習生は、館外で「武士の装い」展PR活動も行ないました。



能登食祭市場にてPR中

ワークショップ&クイズ報告

八月十一〜十九、二十五、二十六日、九月八、十五〜十七日の午後二時〜四時まで、「れきはく歴史体験inななお《武士の時代》にタイムトリップ」を開催しました。来館されて「え、甲冑が着られる日もあったの!」という方も多く、予定日時以外でもできるだけ対応し、大人から子どもまで沢山の方に体験していただきました。



七尾市立東湊小学校6年生のみなさん

複製とはいえ甲冑を身に付けていくと、皆さんすっかり武士気分。子どもたちはその重さや動きにくさを実感。最初は恥ずかし気な大人の方も、鏡やカメラの前でポーズを取ったり、「来年の年賀状にする」と意気込む方もいらっしゃいました。

また、会期中は小中学生対象の《子どもなんでもクイズ》や、自由に参加できる折り紙コーナー《だれでもカブト!》も開催しました。クイズでは、大名行列の絵や甲冑に目を凝らし、正解パネルの前で「やったー、全問正解や!」と喜ぶ姿が見受けられたり、折り紙コーナーでは、四種類の折り方を見ながら、小さなお子様から高齢者の方まで楽しんでおられる様子が微笑ましかったです。

ご指導いただきました石川県立歴史博物館、ご協力いただきました各先生方にお礼申し上げます。

※「武士の装い」展関連の教育普及事業は、文化庁芸術拠点形成事業として開催されました。

石川の歴史と文化再発見「武士の装い〜石川県立歴史博物館所蔵の名品を中心に〜」

体験講座&ギャラリートーク報告

八月十二日（日）午後一時から二時まで、長谷川孝徳氏（北陸大学教授）を講師にお迎えし、親子対象の《おもしろ武士の体験講座》が開催され、一般聴講の方も併せて四十一人が参加されました。子どもたちは、甲冑の重さについての問いに元気よく手を挙げて答え、「学校の自由課題にする」という児童は、一生懸命メモをとっていました。また「元のさやに納まる」「反りが合わない」「火蓋が切つて落とされた」などの言葉が刀や火縄銃からきているというお話には、お父さんやお母さんの方が大きく頷いていたのが印象的でした。

さらに、八月十九日（日）午後一時から二時までは、長谷川氏による一般対象のギャラリートークが行われ、二十八人の方が参加されました。甲冑のところどころで長谷川氏が「これは大河ドラマの《利家とまつ》で、俳優の〇〇が演じていた人物が実際に着用していました」というと、一斉に「あ〜!」という声が上がって、皆さんから笑いが起こっていました。

七尾美術館で初めての甲冑展示、知らなかった武士のこと、武士が生きた時代のことなどが分かって、参加された方は満足してくださったのではないかと思います。

長谷川先生に、この場をお借りしてお礼申し上げます。





これからの展覧会予定



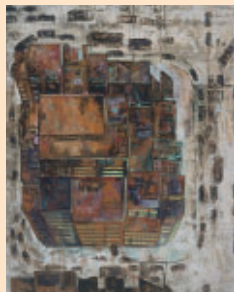
平成19年12月15日(土)～平成20年1月27日(日)

◆第1展示室

「女流画家たちの視点」

石川県ゆかりの女流作家たちが、それぞれの視点で捉えて描いた日本画と洋画を、所蔵作品と寄託作品から紹介します。

時にはやさしく繊細で、時には内に秘めた強さが伝わってくる、そんな魅力的な作品16点をお楽しみください。



「帰らない日」加戸ひとみ

◆第2展示室

「桃山・江戸時代の長谷川派を中心に」

等伯の出身地にある当館では、毎年「長谷川等伯シリーズ展」を開催しています。

今回は春の「長谷川等伯展」を前に、初展示となる等叔・雪嶺など江戸時代の長谷川派作品を中心に、特別展示の当館所蔵・寄託の信春時代作品2点もあわせて約10点を紹介します。



「達磨図」長谷川等言（等権）

平成20年2月9日(土)～3月30日(日)

◆第1展示室

「春の所蔵品展～織部づくし～」

鮮やかな緑釉、自由奔放な形に大胆な意匠。桃山時代を彩った織部焼。当館所蔵品の中核をなす池田コレクションの美濃焼より、織部焼の優品から興味深い陶片に加え、瀬戸焼や志野焼もまじえ、一堂に展示します。



「織部亀甲文富士形小手鉢」

◆第2展示室

「春の所蔵品展～石川ゆかりの作家たち～」

所蔵品及び寄託作品より、石川の地が育んだ現代の作家を中心に、日本画、洋画、彫刻など様々なジャンルで紹介します。



「晨」吉田雪山

石川県能登島ガラス美術館からのご案内

「魅惑のヨーロッパガラス」

古代の器に始まり現代のガラス造形にいたるヨーロッパの洗練されたガラス作品をご紹介します。

会 期●平成19年12月1日(土)～平成20年3月3日(月)

*休館日 11/27(火)～30(金)、12/18(火)、12/29(土)～1/1(火)、1/15(火)、2/19(火)

開館時間●9:00～16:30 (入館は16:00まで)

観 覧 料●個人800円、団体(20名以上) 700円、中学生以下無料

イベント●わくわくワークショップ

「ガラスの器を贈ろう! クリスマスプレゼント」

12/22、23 10:00～11:30、13:30～15:30 参加費 200円から



「黒幾何学文リキュールセット」ウィーン工房
1920年頃 石川県立美術館所蔵



割引、プレゼントなど特典いろいろ! ぜひ当館でもご利用ください。



飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分
車……金沢から能登有料道路利用約1時間15分
タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩……JR七尾駅より約20分
市内循環バス……JR七尾駅前5番乗り場から西回りに乗車約6分(まりん号)

休館日のお知らせ

(10月～12月)

◆10月 1,9,15,22,29～31

◆11月 1,5～8

◆12月 10～14,17

◆年末年始 12/25～1/4

◎次号・第52号(冬号)は1月1日発行予定です。